

町づくり活性化について

横尾 政明 議員

牟岐町総合計画基本構想の中での重点プロジェクト、その一、安心・定住プロジェクト主要施策十五項目、その二、活力・賑わいプロジェクト主要施策十八項目、その三、元氣・協働プロジェクト主要施策十六項目、各施策があります。どれも重点項目だと思われませんが、町の現時点での取組はどうなっているのでしょうか。

また、牟岐町の活性化のための協議会の設立を提案します。今後、牟岐バイパス開通によって牟岐町はストロー現象を起し、衰退の一途をたどると考えられます。そこで、町主導のもと官民が一体となり、縦横に連携した協議会を設立し、専門的な知識と意識を持つリーダーによる、より具体的で建設的な意見を出し

合い、まさに町の諮問機関としての役割と責任感を持って、活性化に向けて政策の提言をする。今、町に求められていることではないでしょうか。

町長

牟岐町総合計画にある重点プロジェクトにおける活性化施策については、昨年度に策定し、今年度からの執行になるので、直ちに施策が目に見えるものは少ないと思います。

特に活性化に係るものとして、活力・賑わいプロジェクトのうち、今年度から空家調査、観光物産所設置、阿南高専との技術協定、町のHPの更新等により実施しています。これまでも南阿波よくばり体験などで教育旅行等の受け入れはしています。これ以外の活性化策については、各重点プロジェクトに従い施策展開をしていきます。

次に牟岐バイパス完成時の町の活性化については、過疎化の進行する中、牟岐町自身の魅力を高めること

が必要であると考えます。町の活性化のため、行政と住民が一体となった活性化協議会の設立は大賛成です。他の検討委員会と調整しながら、実施したいと考えています。

総務課長

牟岐町総合計画は、町の状況や課題を踏まえ特性を活かしながら課題の解決に向け取り組むべき施策を示し、町民とともに町を復興し、生活の質の充実を図っていくための指針として策定しています。本計画の計画期間は、平成二十三年度から平成三十二年度までの十年間です。事業化の際に事業によっては、委員会等で協議し、より詳しい事業計画を立てることにあります。

編集後記

「人間万事塞翁が馬」人生の幸福や不幸は予測できないことの連続です。平成二十三年三月十一日、東日本が未曾有の大震災に見舞われ、あらためて人の命、家族や地域社会の絆の大切さを考えさせられました。千年に一度ともいわれる大津波で多くの人命が失われ、町の機能が完全に麻痺し、逼迫した状況下での災害対応のあり方、はたして自分自身に何ができるのだろうかという問いかけの年となりました。

近い将来、必ず牟岐町にも来るであろう大災害に備え、今日生きていることの幸福を感じながら、未来に希望を持ち続けられるまちづくりには「最善」を尽くして精一杯努力することが、私たちの使命だと感じています。

広報編集委員会



南阿波よくばり体験(古牟岐)

お気軽に皆さんのご意見
ご感想をお寄せください。
電話 七二一三四二一
FAX 七二一二七一六
「広報編集委員会」まで
お願いします。